

「SDGs未来都市」及び 「自治体SDGsモデル事業」の概要について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和3年6月8日

企画調整課 SDGs推進室

令和3年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

概要

- 中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体によるSDGsの達成に向けた取組を推進していくことが重要。
- SDGs推進本部会合における安倍前総理指示を踏まえ、地方創生分野における日本の「SDGsモデル」を構築していく。
- 地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、引き続き、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として31都市を選定。また、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として10事業を選定する。
平成30～令和2年度の3年間で「SDGs未来都市」93都市、「自治体SDGsモデル事業」30事業を選定。
- 今後、これらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

SDGs未来都市

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域**として選定

地方創生推進交付金の、申請事業数上限の枠外として、1事業追加可能

自治体SDGsモデル事業（10）

上限2.7千万円／都市 $\frac{\text{定額補助 上限1.7千万円}}{\text{定率補助（1/2） 上限1千万円}}$

- ①経済・社会・環境の三側面の統合的取組による**相乗効果**の創出
- ②多様なステークホルダーとの**連携**
- ③**自律的好循環**の構築

SDGs未来都市の中で実施予定の先導的な取組として選定

地方公共団体によるSDGsの基本的・総合的取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、**SDGsの理念に沿った統合的取組により、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込める事業**

成功事例の普及展開

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援（計画策定・事業実施等）

持続可能なまちづくり

令和3年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の選定都市

令和3年度SDGs未来都市 選定都市一覧

令和3年度自治体SDGsモデル事業 選定事業一覧

No.	提案者名	提案全体のタイトル
1	北海道上士幌町	「だれもが生産活躍・環境と調和したビジネス展開」プロジェクト
2	岩手県一関市	未来を見つめ、世界が憧れるまち いちのせき～新たな価値の創造による持続可能な地域づくり～
3	山形県米沢市	～果敢な挑戦と創造の連続～市民総参加で実現するSDGs未来都市米沢
4	福島県福島市	東日本大震災と原発事故から10年、世界にエールを送るまち ふくしま
5	茨城県境町	河岸の街さかいSDGs未来都市計画～誰もが明るい未来を描きながら暮らすことができる街 さかい～
6	群馬県	ニューノーマルを先導する持続可能で「快楽」な群馬の実現
7	埼玉県	「日本一暮らしやすい埼玉県」へ～埼玉版SDGsの推進～
8	千葉県市原市	SDGsのシンボルとなるまちへの挑戦
9	東京都墨田区	「働きがい」「生きがい」と「暮らし」につなげるデザイン～プロトタイプが実装できるまち～
10	東京都江戸川区	海拔ゼロメートルのまち江戸川区が目指す「SDGs=共生社会」先導都市
11	神奈川県松田町	みんなが「ツナガル」まちづくり「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」～日本の1万分の1スケールの町からの提案～
12	新潟県妙高市	生命地域妙高プロジェクト～Beyond 2030 SDGsゼロカーボンの挑戦～
13	福井県	次世代に選ばれる「しあわせ先進モデルふくい」の実現
14	長野県長野市	誰もが自分らしく活躍できる活気に満ちた長野地域の創造～環境共生都市「ながの」の実現～
15	長野県伊那市	SDGs未来都市～創造と循環のまち 伊那市の実現～
16	岐阜県岐阜市	ぎふシビックプライドとWell-beingに満ちたSDGs未来都市
17	岐阜県高山市	世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現
18	岐阜県美濃加茂市	新たな価値を生み出す里山 リ・デザイン「ローカルSDGs みのかも」
19	静岡県富士宮市	富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs
20	愛知県小牧市	SDGs未来都市こまき～こどもたちの夢への挑戦を応援し、未来につなげるまち～
21	愛知県知立市	多文化共生の未来都市知立を目指して～日本人・外国人誰一人取り残さない持続可能なまちづくり～
22	京都府京都市	千年の都・京都発！SDGsとレジリエンスの融合 しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる都市を目指して
23	京都府京丹後市	京丹後市SDGs推進計画～豊かな自然環境と多彩な産業、先端技術が調和した幸福なまちの実現～
24	大阪府能勢町	地域資源が循環する里山未来都市の実現
25	兵庫県姫路市	世界をつなぐSDGs推進都市ひめじの夢
26	兵庫県西脇市	人輝き 未来広がる SDGs田園協奏未来都市 にしわき-自然と人が織りなす持続可能な地方都市の挑戦-
27	鳥取県鳥取市	サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する
28	愛媛県西条市	豊かな自然と共生し「ヒト」と「活動」が好循環するまち西条創生事業
29	熊本県菊池市	合言葉は3つの“つ”！「つどい・つながる・つづける」～自然を生かし、人をつなぎ、自立発展し続けるまち菊池～
30	熊本県山都町	有機農業で持続可能なまちづくり
31	沖縄県	誰一人取り残さない持続可能な「沖縄らしさ」の実現～SDGs推進による沖縄の継承と変革への挑戦～

※都道府県・市区町村コード順

No.	提案者名	自治体SDGsモデル事業名
1	北海道上士幌町	「スマートタウンで“弱点”転変！かみしほる幸せ循環」プロジェクト
2	千葉県市原市	化学×里山×ひと ～SDGsでつなぎ、みんなで未来へ～
3	東京都墨田区	産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～
4	新潟県妙高市	みんなてつくる生命地域 Redesignプロジェクト
5	岐阜県岐阜市	山水と都市が育むWell-beingなライフスタイル創造事業 ～「つかさのまち・シビックプライドプレイス」が繋ぐ人と人、人とまち～
6	岐阜県美濃加茂市	「ローカルSDGsみのかも」= 地域循環共生圏の実現に向けたソーシャルビジネス創出モデル事業
7	京都府京都市	京都の文化が息づく3側面、“みんなごと”で取り組む レジリエンスモデル ～SDGsのその先へ～
8	愛媛県西条市	LOVESAIJOポイントを介して「ヒト」と「活動」が好循環する持続可能なまち西条創生事業 （「西条市SDGs×西条市DX」の推進による地方創生の実現）
9	熊本県山都町	有機農業を核とした有機的な繋がりが広がる町の実現
10	沖縄県	誰一人取り残さない持続可能な美ら島「沖縄モデル」推進プロジェクト

※都道府県・市区町村コード順

沖縄県「SDGs未来都市」提案 全体概要

提案全体のタイトル: 誰一人取り残さない持続可能な「沖縄らしいSDGs」の実現
 ～SDGs推進による沖縄の継承と変革への挑戦～

全体計画の概要: 「沖縄らしいSDGs」の実現に向け、バックカastingで策定した沖縄21世紀ビジョンの県民が目指す将来像と重なる、残すべき「沖縄らしさ」(継承)と変えていく「沖縄らしさ」(変革)を包含した沖縄の挑戦を示す計画である。本計画で、様々なステークホルダー間の強力かつ柔軟な連携体制を新たに構築し、環境・経済・社会の三側面の調和・循環を促す取組を展開することで、持続可能な「沖縄らしさ」の実現を目指す。

1. 将来ビジョン

地域の実態

- 今まで増加推移してきた人口動態が減少に転じる見通し
- 高付加価値産業の展開による県民所得・労働生産性の向上が急務
- 沖縄の地域特性を踏まえたSDGsの推進が諸分野で必要

2030年のあるべき姿

基本理念「平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支えあい誰一人取り残さない持続可能な『美ら島』おきなわの実現」に向けて、三側面のあるべき姿を本計画で提示し目指していく

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

以下、三側面のあるべき姿の実現に寄与するゴール・ターゲットに取り組んでいく
【環境】「美ら島」沖縄らしい島しょ型エネルギー社会の実現による環境・生態系保護
【経済】強くしなやかな自立型経済の構築と沖縄観光ブランドの確立
【社会】沖縄の精神文化を継承し、誰もが地域への誇りと夢・目標をもてる社会づくり



自治体SDGsに資する取組

- 【環境】**クリーンエネルギー導入拡大と自立分散型エネルギー普及促進、世界自然遺産登録、食品ロス削減、沿岸・海洋生態系の保全
- 【経済】**科学技術振興・産業クラスター形成、新たな観光政策、グリーンリカバリー
- 【社会】**子供の貧困対策、雇用改善、「健康・長寿おきなわ」、空手振興、人材育成

情報発信

- (域内向け)プラットフォーム・教育の活用
- 沖縄SDGsステークホルダープラットフォーム
- ESDの推進 など
- (域外向け(国内))沖縄の特性の活用
- スポーツチームやイベントとの連携
- 修学旅行生向けSDGsワークショップ
- (海外向け)既存イベント等の活用
- JICA沖縄との連携 など

普及展開性

○「観光産業への打撃」等、沖縄県の特性による課題を解決する本計画の取組は、島嶼地域や観光を主産業とする自治体が、持続可能な社会を形成する際の好例となる。
 ○SDGsパートナー間の連携やパートナーと市町村との連携に補助を行う、市町村とプラットフォームを連携する等の取組により、普及展開を図る。

各種計画への反映

- 新たな振興計画(旧沖縄21世紀ビジョン基本計画)
- 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)
- 沖縄エネルギービジョン2020(仮称)
- 各種の個別計画

行政体内部の執行体制

- 知事を本部長とする「沖縄県SDGs推進本部」の設置
- 「SDGs推進室」設置
- 全庁各部局にSDGs担当を配置
- 主管課長による「SDGs連絡調整会議」を設置など

ステークホルダーとの連携

- 沖縄SDGsパートナー登録制度を基に民間企業、研究機関、市民団体等各パートナーと連携した取組を展開しており、新たな推進プラットフォームによりマッチング機会の創出なども強化していく
- 国内自治体、海外都市との連携強化

3. 推進体制

自律的好循環の形成に向けた制度の構築等

- 「おきなわSDGs推進プラットフォーム(仮称)」による推進体制を構築する
- 「沖縄SDGs認証制度(仮称)」: 地方創生SDGsに取り組む企業・団体を認証し、マッチングやプロモーション支援、入札評価等の各種インセンティブ制度を設計する
- 地元金融機関や公社ファンド等と連携したSDGs金融スキームの設計と特区制度による規制緩和に取り組む

2030年の沖縄のあるべき姿

平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支えあい誰一人取り残さない、持続可能な『美ら島』おきなわの実現

【経済】 強くしなやかな自立型経済の構築と沖縄観光ブランドの確立

【社会】 沖縄の精神文化を継承し、誰もが地域への誇りと夢・目標をもてる社会づくり

【環境】 「美ら島」沖縄らしい島しょ型エネルギー社会の実現による環境・生態系保護

沖縄県の優先課題(12課題)

①性の多様性（LGBT等）、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）



将来像 II 将来像 V

②医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし



将来像 II

③地域への誇り（しまくとぅばの普及・推進等）と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実



将来像 V

④基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル/レスポンスブルーツリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇



将来像 III

⑤日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点



将来像 III

⑥気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備



将来像 I 将来像 III

⑦多様な生物・生態系や自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル



将来像 I

⑧基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信



将来像 II 将来像 IV

⑨共助・共創型の安全・安心な社会の実現



将来像 II

⑩ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和



将来像 I 将来像 II

⑪地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出



将来像 IV

⑫世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ



将来像 IV

プロジェクトの目的

沖縄県が先陣を切って取り組むべき下記の役割を優先するため当該プロジェクトを提案。

- ①ステークホルダーの関与を活性化させて、「社会全体で作り上げる」枠組を整備する。
- ②立場が異なる一人ひとりが自らの考えを発信でき、社会がその声を吸い上げることが可能な機会・環境を確立する。
- ③社会の至る所から生まれる取組を発信・普及展開して、沖縄から日本・世界のSDGs に寄与する。

プロジェクト概要

SDGs を推進するためのプラットフォームを立ち上げ、様々なステークホルダー間の連携強化とマッチング機会創出を図る。産学官連携の推進体制に基づき、離島ならではの課題を解決する沖縄らしい持続可能な社会の実現に向けて、エネルギーや食糧等の地域資源が域内循環する循環型社会システムの確立に先駆的に取り組む。

経済

課題：高付加価値産業の発展と経済の自立的好循環

- 沖縄ワーケーション促進事業
- 沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業
- 成長分野リーディングプロジェクト創出事業
- 地産地消マルチブランド戦略事業
- おきなわ彩発見バスツアー促進事業

社会

課題：貧困対策と雇用環境の改善

- 子どもの貧困対策の推進
- 子どもの貧困解消に向けた持続可能な食支援体制の構築
(生活困窮家庭食支援連携体制構築事業)
(おきなわこども未来ランチサポート連携)
- 女性力推進事業

環境

課題：脱炭素社会に向けて需給構造に見合ったエネルギー体制の確立

- 小規模離島における再生可能エネルギー最大導入事業
- 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業
- 電動車転換促進事業
- おきなわ省エネ設備等普及事業補助金
- 食品ロス削減推進事業

誰一人取り残さない持続可能な美ら島
「沖縄モデル」推進事業

- アクションプラン策定と推進体制の構築
- 沖縄らしい循環型社会モデルの確立

三側面をつなぐ統合的取組

誰一人取り残さない持続可能な美ら島「沖縄モデル」推進事業

アクションプランの策定と「沖縄SDGs 推進プラットフォーム」を立ち上げて推進体制を構築する。この推進体制に基づき、各ステークホルダーと連携して、太陽光発電による再生可能エネルギー、食糧、交通手段といった県内主要資源の域内共有・循環を推進する事業を展開する。

①アクションプラン策定と推進体制の構築

- SDGs推進に関する目標及び達成度のモニタリング指標等をアクションプランとして策定
- 幅広い関係者参画に基づく作業部会・専門部会、有識者から構成するアドバイザリーボードを設置し、推進体制を構築
- 民間セクターや市民団体等のパートナーシップにより運営される「沖縄SDGs ステークホルダープラットフォーム(仮称)」を創設



沖縄県SDGs推進本部（本部長 沖縄県知事）

②沖縄らしい循環型社会モデルの構築

各ステークホルダーの強みを活かした県内主要資源の域内循環を推進することで、離島ならではの資源課題の解決に取り組むとともに、新たなイノベーション創出も通じた自律的な経済循環を達成する。

1 再生可能エネルギー導入促進の実証事業

島しょ地域における再生可能エネルギー導入に向けた研究開発及び実証試験支援



2 フードネットワーク事業

企業のCSR活用やフードロス対策と生活困窮家庭等への食支援活動を結びつけるネットワークの構築



3 EVカーシェアリング事業

EV公用車両の公用と観光客等の一般利用のシェアリング促進

① アクションプラン策定と推進体制の構築

沖縄県のアクションプランの策定と幅広い関係者が参画する「沖縄SDGs 推進プラットフォーム」を立ち上げ、沖縄県のモデル的な推進体制の構築と沖縄らしいSDGsの推進を目指す。

アクションプラン策定

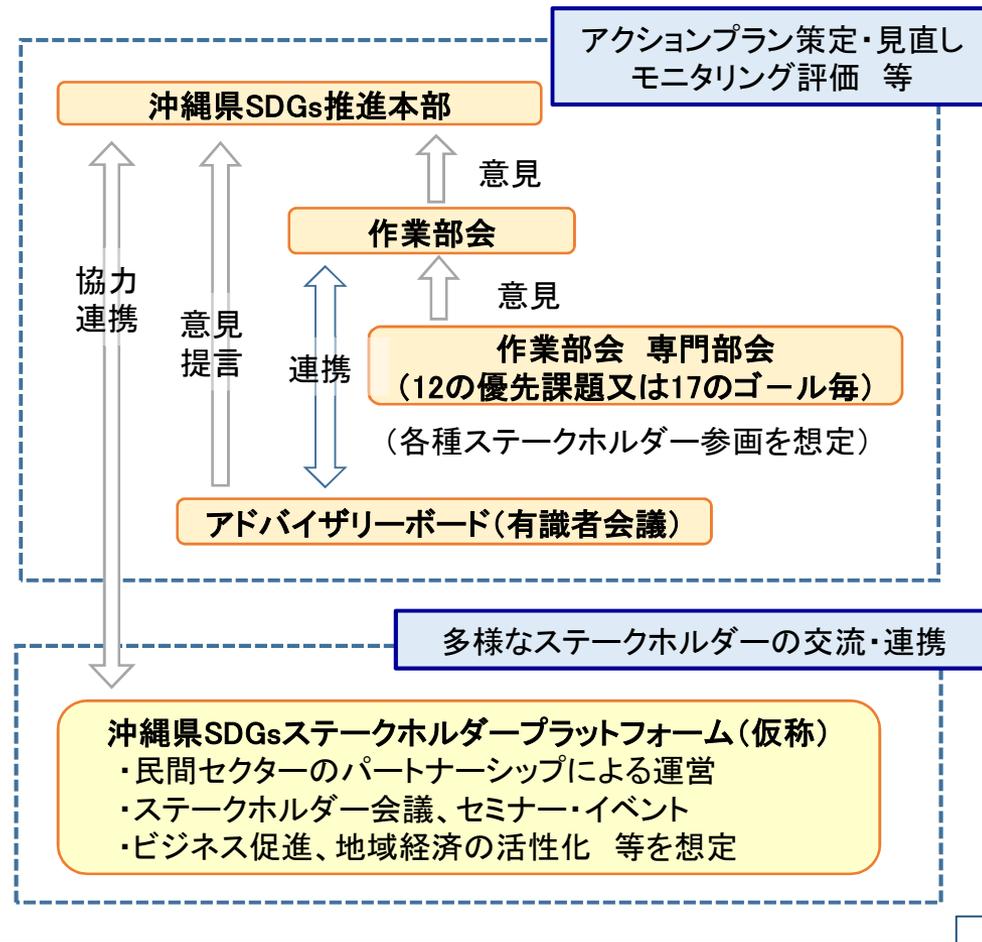
① 沖縄県の優先課題(12課題)及びSDGs
ゴールに対応した目標 (施策、取組)

② 達成度を図るモニタリング指標

○ 左記の推進体制を活用した、各種ステークホルダーの参画による検討を作業を想定

○ 県民、市町村、企業、市民社会段階などステークホルダーとの共通理解と協働

推進体制 (SDGs推進プラットフォーム) の構築



透明性と参加の仕組みづくり

SDGsの浸透・主流化

② 沖縄らしい循環型社会モデルの構築

②-1 再生可能エネルギー導入促進の実証事業

- 沖縄県は亜熱帯地域であることや離島を抱える島しょ地域などの地理的特性により、他地域の大規模送電網と連結していないことなど、地域に適した再生可能エネルギーシステムが必要である。
- 沖縄県では、2050年の脱炭素社会に向けて、「沖縄県クリーンエネルギーイニシアティブ」を策定(2021年3月)ロードマップ等に基づき、エネルギーの脱炭素社会の実現に向けて施策を展開する。

沖縄県クリーンエネルギーイニシアティブ (令和3年3月策定)

2050年度の将来像

- 再生可能エネルギー主流化
- エネルギーの脱炭素化
(水素エネルギー利用等)

2030年度の将来像

- 再生可能エネルギーの導入拡大(7.5%→18%)
- 水素等の次世代エネルギーの利用拡大
- 自立分散型エネルギーシステムの拡大 等

基本理念 (3E+S)

- Safety(安全)
県民の安全・安心な暮らしを守ること
- Energy Security(安定供給)
安定的に県民に供給されること
- Economic Efficiency(経済性)
県民が低コストで利用できること
- Environment(環境適合性)
環境への負荷が少ないこと

取組の事例

- 沖縄科学技術大学院大学では各家庭の太陽光発電等の電力を域内シェアするシステムの実証実験を実施
- 宮古島市では、太陽光、風力発電の電力をIT技術で最適に島内供給する実証実験を実施

実施概要

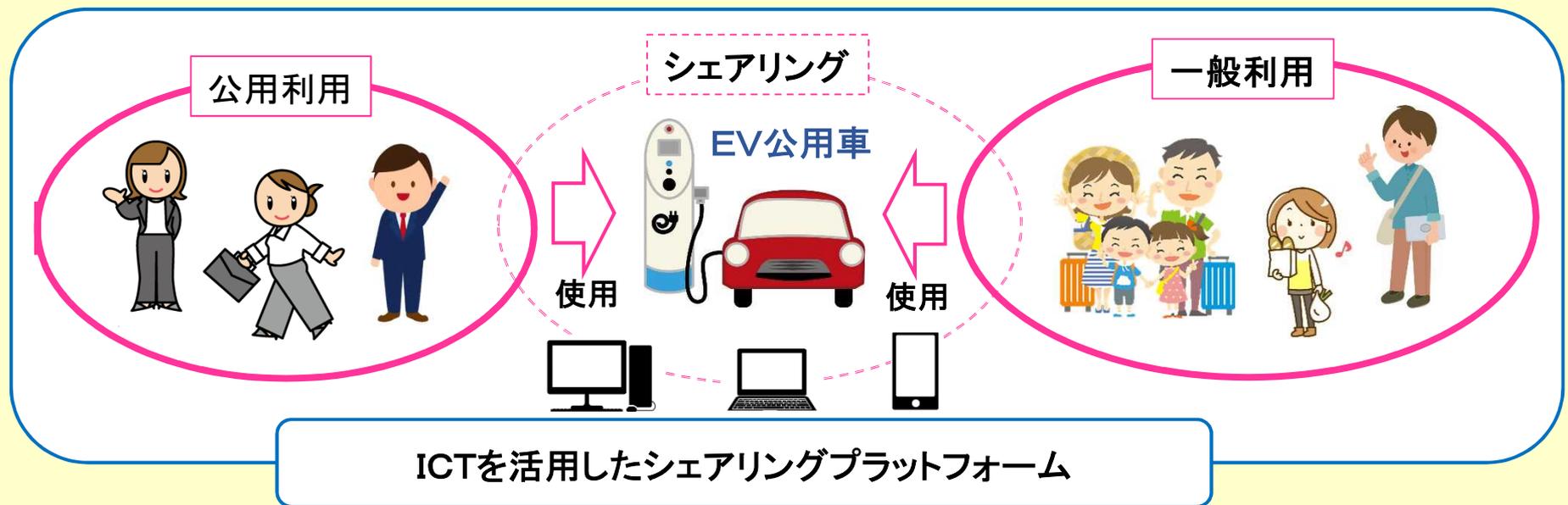
地方自治体、電力会社及びEMS(エネルギーマネジメントシステム)事業者等と連携し、島しょ地域における最適な再生可能エネルギー導入に向けた研究開発及び実証試験への支援を検討、推進する。

②沖縄らしい循環型社会モデルの構築

②-3 EVカーシェアリング事業

県内の自動車関連メーカーやカーシェアリング事業者と連携して、事業者が所有するEV車両や新たに調達するEV公用車両を休日に県民や観光客が一般利用できる体制の構築を目指す。

運輸部門による二酸化炭素排出量の削減に向け、EV車両の普及率及び稼働率を高める施策として機能し、共有資源を環境に配慮したものに転換していく取組として広域的な展開を目指す。



シェアリングにおける課題抽出・対策検討、効果検証

沖縄県、市町村
公用車のシェアリング展開

県内企業・団体
所有車両のシェアリング展開

経済、社会、環境の各側面の相乗効果 (統合的取組によって生じる相乗効果)

経済

課題…高付加価値産業の発展と経済の自立的好循環

- 沖縄ワーケーション促進事業
- 沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業
- 成長分野リーディングプロジェクト創出事業
- 地産地消マルチブランド戦略事業
- おきなわ彩発見バスツアー促進事業



- ・経済活性化
- ・雇用創出

社会

課題…貧困対策と雇用環境の改善

- 子どもの貧困対策の推進
- 子どもの貧困解消に向けた持続可能な食支援体制の構築
(生活困窮家庭食支援連携体制構築事業)
(おきなわこども未来ランチサポート連携)
- 女性力推進事業



- ・域内資源の循環
- ・人材投資効果の還元

持続可能性・パートナーシップ



誰一人取り残さない持続可能な美ら島 「沖縄モデル」推進事業

三側面をつなぐ統合的取組

【アクションプラン策定と推進体制の構築】

- アクションプラン策定及びプラットフォームの構築
【沖縄らしい循環型社会モデルの確立】
- 再生可能エネルギー導入促進の実証事業【新】
 - フードネットワーク事業【新】
 - EVカーシェアリング事業【新】

- ・温室効果ガス削減
- ・イノベーション創出

- ・フードロス削減
- ・温室効果ガス削減

- ・環境・観光関連産業の発展
- ・新たな観光政策の展開
- ・グリーンリカバリーの実現

課題…脱炭素社会に向けて需給構造に見合ったエネルギー体制の確立

- 小規模離島における再生可能エネルギー最大導入事業
- 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業
- 電動車転換促進事業
- おきなわ省エネ設備等普及事業補助金
- 食品ロス削減推進事業

環境



- ・貧困問題の解決
- ・SDGsの意識醸成